

キャンドルの集い（中学生）

司会（進行）		○セリフ ●各系の動き
マイクセット・司会者席で待機		会場外で待機（衣装に着替える。ローソクを立てる（火はつけない）。順番に並び
1部開始	只今からキャンドルの集い。第1部「灯火（ともしび）の集い」をはじめます。	会場の照明を消す
説明	全員その場に立ってください。	
	静かに目を閉（と）じて、心を落ち着かせて下さい。	○チーフ この世の世界を支配していた太陽が、西の海に静かに沈んで、ここ青少年の家にも、夜のとばりがすっかりおろされました。友情と信頼のきずなを確かめ合い、力強く生きることを願って、今宵は私たちの心を一つにし、いつまでも思い出に残るキャンドルのつどいにしようではありませんか。今、灯された火のように、明るく熱く燃えましょう。。
入場	そっと、目を開（あ）けて下さい。火の神、神の子が入場します。	●火の神・神の子 火の神→神の子の順に入場。燭台を一周して神の子とむかい合います。火の神のローソクは点灯。神の子はローソクに火をつけない。
採火	青少年の火の採火（さいか）を行います。	●火の神 前進して親火（青年の火）に採火（さいか）し元の位置（いち）にもどる
火の神	火の神のことは	○火の神 満天に星座かがやき、自然のめぐみにいだかれた周防灘の波音の聞こえる所、ここ香々地青少年の家で、私たち〇〇中学校は今夜ここに聖なるひを迎え思い出に残るキャンドルの集いをおごそかに行おうとしています。信頼と友情の火を高々とかがけて楽しく意義あるひと時をすごしたいと思います
点火	点火	○神の子 （神の子1から順番に火の神の前まで行き点火して元の位置にもどる） （神の子1）今、規律の火がともされました。 （神の子2）今、協同の火がともされました。 （神の子3）今、友愛の火がともされました。 （神の子4）今、奉仕の火がともされました。
	班長さん、一步前を出て下さい。	●班長 一步前が出る
	分火のことは	○火の神 わが友に、ともしびを、わかち、あたえよ。
	神の子は、班長さんに火を分けてください。	●神の子 班長に分火して定位置にもどる
説明	チーフの言葉	○チーフ 今、ここに灯された火は弱くとも、ひとたび燃えさかれば、すべてのものを焼き尽くしてしまう恐ろしいほどのエネルギーを、うちに秘めています。人間は、太古の昔、この聖なる火を得たことにより、文化を産み、育て、豊かな社会を発展させてくることができたのです。この炎、この熱、このエネルギー、この光がきっと私たちに明るく、正しく、強く生きるための、素晴らしい情熱を与えてくれるものと信じます。
	ローソクを高くかがけてください・・・ゆっくりと、目の高さで止めてください。このローソクは、我が身を焼きながら、光を与えてくれます。言いかえれば、このローソクは、自分の身を焼き尽くし、私たちの道しるべとなって、希望と喜びと夢を与えてくれます。また、火は暖かい熱となり人を愛すること平和の尊さを教えてくれます。	
献火	火の神の献火（けんか）をお願いします。（燭台最上部）	●火の神 燭台最上部に献火（けんか・ローソクを立て）、元の位置に戻る
	続いて、神の子献火（けんか）をお願いします。	●神の子 燭台上部に献火（けんか・ローソクを立て）、火の神の横に並び燭台を見る
	〇班から〇班までの人、燭台（しょくだい）の周りに集まってください	●参加者 中心部からローソクを立てる。手前が熱くなるので注意
	※先生方は燭台付近に待機し、献火した後のローソク立てを回収する。また、中心部から献火させる。生徒の火傷に注意。	
歌	全員で「 」歌います。	○合唱（歌の準備。学校で考える）

誓いの言葉	誓（ちか）いのことば	○生徒代表 瀬戸の海を眼下に見下ろす、ここ香々地青少年の家で、今、私たちの胸に希望の灯が、明るく高らかに点火されました。この〇日間、青少年の家での活動で深め合う友情をささえとして、新たな決意で、明日からの生活に最善を尽くしていくことを誓います。
	すばらしい誓（ちか）いのことばでした。はくしゅをお願いします。	平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇中学校 生徒代表 ○ ○ ○ ○
1部終了	火の神のたったひとつの火から、つぎつぎに明るい火がともされて、大きな美しい火の輪ができました。今、ここに、友情のきずなが、ひとりひとりの熱い胸にともされたことを信じつつ、第1部”ともしびのつどい”を終わります。	
退場	火の神、神の子が退場（たいじょう）します。はくしゅで送ってください	●火の神・神の子 火の神を先頭に神の子は退場。燭台をまわらず、そのまま退場します
	みなさん、すわってください。	●照明をつける

2部	これから第2部 交換のつどいを始めます。	◆歌やゲームで楽しむ
----	----------------------	------------

3部開始	みなさんキャンドルを中心に、座ってください	◆ブルーシートを敷き、燭台をセットする。	
	第3部”ファイナルのつどい”をはじめます。	●照明を消す	
	目を閉じて下さい→心を落ち着かせて下さい		
	目を開けて下さい。		
歌	「今日の日はさようなら」を歌いましょう	○全員合唱	
入場	火の神、神の子が入場します。	●火の神・神の子。1部入場と同様。燭台を一周して神の子とむかい合います。	
鎮火	神の子は、親火（青少年の火）だけを残して、火をしずめて下さい。	●神の子 親火（青少年の火）を残し燭台のローソクを消す	
説明		○チーフ 大きな声で歌い、ゲームに熱中しているうちに、いつの間にか夜もすつかりふけ、楽しかった集いの時間も過ぎ去ろうとしています。赤々と燃えさかった炎も、今はすっかり静まり、もとの親火一本にかえりました。野に山に、けものを追ひ、海や川にその日の食べ物を探し求め暮らしていた、大昔の人々によって発見されたこの火は、長い長い人の世の歴史を守り、燃え続けてきました。こよい燃えた、この火は無限にのびようとする少年の情熱を象徴しているかのようです。たとえ、この火は消え去っても、今ともされた、私達の心の中の友情の火は、明るく輝き、いつまでもいつまでも燃え続けることだと思えます。	
	合唱	〇〇〇〇中学校の校歌を歌いましょう。	○校歌合唱
	退場	心を静め、自分をふりかえりながら、青少年の日を送りましょう。	●火の神、親火（青少年の火）を取りに行き、神の子を従えて、燭台を一周し退場
		火の神、神の子が退場します。拍手でお送り下さい	
片付	こよいともされた、美しくかがやく友情の火を、みなさんの心の中にいつまでも燃やし続けてください。〇〇〇〇中学校の限らない発展と、みなさんひとりひとりの幸福（しあわせ）をお祈（いの）りして、キャンドルのつどいを終わります。		
	燭台→非常口 ブルーシート→小さくたたみレク室倉庫 ローソク→まとめてバケツへ 衣装・ローソク立て→指導員に返却 マイク→コードを抜きまとめる 長机→音響の前 参加者ローソク立て→レク室倉庫		

係分担 ■司会・進行（数名で担当可） ■チーフ（ナレーションをする。数名担当可）
 ■神の子（児童代表4名限定） ■火の神（学校代表教師1名）